



【 利用者の方からの質問 】

(原文ママ)

ベイト剤の効果についてお聞きします
マルチをしている場合、散布する範囲はどこまでやるのか
(穴のまわりだけでよいか?)



【 豊嶋さんからの回答 】

ベイト剤は、土の上を移動して作物を加害する虫に対する毒餌ですね。

思いつく限りのベイト剤の農薬登録内容を見てみましたが、ほぼすべてが「全面散布」ではなく「株元散布」となっていました。というわけでマルチのあるなしに関わらず株元に散布することになります。

マルチをしている場合は、マルチの穴の周辺までですね。実際、ネキリムシやヨトウムシが株を食べる前に周辺の毒餌に食いついてくれば株は守れますから株元で必要十分ということだと思います。

例外はナメクジやカタツムリを対象とする燐酸第二鉄剤(スラゴなど)です。

これは株元に限らずナメクジ等が発生した場所に散布できるという登録になっています。実際ナメクジがマルチの上を這って移動することは多いですからマルチの上に散布すると効果は高そうです。

